



## Press Information

VPR16-064

2016年10月3日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

## オジェ選手が地元「ツール・ド・コルス」で初優勝し、4度目のタイトルに向け前進

- ・ セバスチャン オジェ選手が地元イベントで初優勝。WRC チャンピオンシップ防衛に王手。
- ・ フォルクスワーゲン・ポロ R WRC は、WRC 通算 49 戦 40 勝。



世界ラリー選手権(WRC)第10戦「ツール・ド・コルス」が、9月29日～10月2日、フランス・コルシカ島西岸の街、アジャクシオを中心に開催されました。

フォルクスワーゲン・モータースポーツのセバスチャン オジェ選手が地元ラリーで初優勝、4度目のチャンピオンシップを手元に引き寄せました。チームメイトのアンドレアス ミケルセン選手とヤリ・マティ ラトバラ選手も3位と4位でフィニッシュ、このイベントからチームを率いる新モータースポーツ・ディレクター、スヴェン スミーツを祝福しました。

「ツール・ド・コルス」には、ストレートらしいストレートがなく、「10,000のコーナーを持つラリー」の異名で知られると同時に、かつては「ツール・ド・コルス(コルシカ島1周)」の正式名称で知られるターマック(舗装路)イベントです。

WRC カレンダー随一の風光明媚なラリーと言われていますが、ルートの一部は切り立った山肌、逆側は崖と難所が多く、クルーがその景色を楽しむ余裕はありません。全長1,174.0kmにレイアウトされたスペシャルステージ(SS:競技区間)は、その数こそ10カ所と少ないものの、最終SS以外はすべて30km超。SS区間距離は390.92kmです。クルーはその間、ひと時も集中力を切らすことなく、タイヤ摩耗にも気を遣わなくてはなりません。

9月30日のデイ1は4SSの構成。このラリーを制し、ライバルのポイント状況次第では4連覇が確定するオジェ選手は、初日から素晴らしい走りを見せ、4カ所すべてのSSでトップタイムを記録、2位以下に44秒の大差をつけました。ラトバラ選手とミケルセン選手も、デイ1を3、4位で終えました。

10月1日のデイ2も、前日と同様、全4SSで戦いが繰り広げられました。午後にはわか雨が降る不安定な天候となり、各クルーは突然の降雨を意識しながらも、急速に乾く路面にも対応しなければならず、難しいタイヤ選択を強いられました。オジェ選手は、この日も安定したパフォーマンスを見せて首位をキープ。ミケルセン選手がラトバラ選手を逆転し、3位と4位が入り替わりました。

ポロ R WRC は、600 回目の SS ウィンをマークしました。2013 年のデビュー以来、892 カ所の SS にアタックし、そのうち 2/3 を制したことになります。

大量リードに守られたオジェ選手は、最終デイ 3 も無難にまとめて WRC 通算 36 勝目を手中に収めるとともに、4 連覇に向けて大きく歩を進めました。「ツール・ド・コルス」前にはオジェ選手を含めて 7 名のドライバーにタイトル獲得のチャンスがありましたが、このラリーを終えてチャンスが残されているのは、オジェ選手とミケルセン選手のほか 1 名のみとなりました。

第 11 戦「ラリー・スペイン」は、10 月 13 日～16 日に、バルセロナ南のリゾートタウン、サロウを中心に開催されます。このラリーには、オジェ選手とフォルクスワーゲン・モータースポーツのダブル タイトル決定の可能性ががあります。

#### [終了後のコメント]

##### ■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: スヴェン スミーツ

「ポロ R WRC が通算 40 勝を達成しました。モータースポーツ ディレクターとしてのデビュー戦で誇らしいリザルトを得ることができました。次戦スペインは、ポロ R WRC が節目となる 50 戦目を迎えるとともに、タイトル獲得のチャンスがあります。」

##### ■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 1 位

「何としても地元ラリーで勝ちたいと思っていました。金曜日が完璧だったので、その後はタイム差の維持に集中しました。この勢いをスペインに繋げて、タイトルを獲得したいです。」

##### ■ カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 4 位

「諸手を挙げて喜べるリザルトではありませんが、責任は自分たちにあります。スペインで再び表彰台に立てるよう全力を尽くします。」

##### ■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: 3 位

「3 位という順位に満足しています。計算上タイトルのチャンスはありますが、今後はランキング 2 位獲得に照準を絞ります。」

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 第 10 戦ツール・ド・コルス最終結果

1. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	4 時間 7 分 17 秒 0
2. ティエリー ヌーヴィル/ニコラス ジルスル(ヒュンダイ)	+46 秒 4
3. アンドレアス ミケルセン/アンダース イェーガー(フォルクスワーゲン)	+1 分 10 秒 0
4. ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+1 分 35 秒 6

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 マニュファクチャラーズ選手権ランキング(第 10 戦終了時点)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	293
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	227
3. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	136

#### ■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 10 戦終了時点)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	195
2. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	127
3. ティエリー ヌーヴィル(ヒュンダイ)	112
5. ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	101

\* 結果はすべて暫定。